

コミュニケーション

公益社団法人 高知青年会議所 広報誌

Communication
Community
Commit

Too
Two
To...

Vol.2
2018.8

高知JC×市民憲章

夏の高知JC

1. 愛郷立志サマープログラム
2. 第四回 土佐風土祭り

高知JCの活動報告

高知JCが紹介する
高知のために頑張る企業

JCI
高知市民憲章事業
フォトコンテスト
~高知のえいところ撮り~
カメラでも スマホでも 撮影できたら なんでもOK!
市民憲章イメージキャラクター けんしょうくん
市民憲章を撮影して応募してみよう!
例 明日のぼる鏡川をパチリ! 路面電車で席をゆずっている決定的瞬間をパチリ! など
QRコードから、もしくは高知青年会議所のホームページから応募してください。
<http://www.kochi-jc.or.jp/>
応募いただきました作品の中から最優秀賞・高知市民賞・高知JC賞などを決めさせていただきます。
最優秀賞 ギフトカード3万円分
こども部門賞 図書カード5千円分 高知市民賞 ギフトカード1万円分 etc.
詳しくはホームページをご覧ください。
応募期間 / 2018年5月15日(火)~8月15日(木)まで
2019年は高知市民憲章が制定されて50年を迎えます。豊かで明るい市民生活をささげられるためにできた「高知市民憲章」を写真に残してみませんか?
高知市民憲章文は裏面を見てね☆
主催/公益社団法人 高知青年会議所 後援・協力/高知市民憲章推進協議会、高知市 後援/高知市教育委員会、NHK高知放送局、高知新聞社、RKC高知放送、KUTVテレビ高知、KSS高知さんさんテレビ



JCI



高知JC×

カメラでも
スマホでも
撮影できたら
なんでもOK!



その1

フォトコンテスト ～高知のえいとご撮り～

市民憲章イメージキャラクター
けんしょうくん

市民憲章を
撮影して応募して
みよう!

例 朝日がのぼる鏡川をパチリ!
路面電車で席を
ゆずっている決定的
瞬間をパチリ! など

応募締め切り
8/15(日)まで



あんなに汚れていた鏡川で
水遊びをする子どもたち

例えばこんな写真



ご応募はコチラから
フォトコンテストの
バナーをタップ!!



高知JC 検索 CLICK!

募集要項

使用されるカメラに制限はありません。(スマートフォン可能)
写真は1人3点まで応募が可能です。応募者本人がすべての
著作権を有した作品に限ります。

部 門

●一般部門…中学生以上 ●こども部門…小学生以下

審 査

厳正な審査を行い、最優秀賞(1作品)、高知市民賞(2作
品)、高知JC賞(こども部門より2作品)、入選(10作品)、
参加賞(こども部門のみ)を決定します。

賞 品

各賞には賞品をご用意します。

一般審査は
風土祭り会場にて!

表 彰

最優秀賞・高知市民賞・高知JC賞を受賞された方は表
彰式へご案内します。

応募方法

- ① まずは市民憲章だと思ふショットを撮影
- ② 応募フォームより必要項目を入力して写真を送信

※小学生や未就学児による応募は保護者管理のもとお願いします。
※応募された作品は、期間限定で展示します。詳しくは高知青年会議所の
ホームページをご覧ください。
※写真はデータ応募のみです。(プリントアウトは不可です。)

来年2019年に高知市民憲章は制定されて50周年を迎えます。
その節目の年に向けて、今回皆様に慣れ親しんでいただいている
「高知市民憲章」を更に身近に感じていただき、より一層の豊かで明
るい市民生活をきずきあげるために、「フォトコンテスト～高知のえ
いとご撮り～」を開催します。
コンテストでは市民憲章文の一説にある「清潔な町のシンボル」で
ある鏡川のきれいな写真や、市民が協力しあい清掃活動を行なっ
ている場面などなど、憲章文のテーマに沿った写真を撮って応募し
ていただき、その中から優秀な作品を展示いたします。
応募方法はカメラやスマホで撮影した写真を専用のエントリー
フォームから。そして選ばれた最優秀賞には30,000円分のギフト
カードなどの商品も進呈されます。
皆様の身近な市民憲章の場面を切り取ってご応募お願いします。



知ってますか? 高知市民憲章

高知市民憲章というものをご存知でしょうか? 「1.鏡川を清潔なまちのシンボルにしましょう。」 「1.たがいに親切にし、あ
たたかい社会をつくりましょう。」…等の5つの条文で構成される、いわば私たち高知市民が高知をよりよいまちにする
ための宣言文のようなもので、昭和42年に当時の高知JCを中心に制定されました。この市民憲章の生まれに関わった
ことから、これを提唱し続けるために私たち高知JCは様々な事業を高知市民憲章推進協議会と共同で毎年行っていま
す。主に、高知市内、河川の清掃活動や、よさこい祭りに「高知市民憲章よさこい踊り子隊」として毎年参戦しています。
来年は制定の節目の年になります。フォトコンテストはその一環で開催をすることになっています。

高知市民憲章

その2

高知市民憲章 よさこい踊り子隊情報



65回目を迎える高知よさこい祭り。

市民と観光客の皆さんが一つの踊りを通じて交流できることを目指して、踊りたい方なら誰でも参加していただける「高知市民憲章よさこい踊り子隊」は、もちろん今年も参戦します。

昨年は2日間で延べ800名以上の参加者が集まり、踊り本番はもちろん、練習が行われた体育館やグラウンドは熱気で溢れていました。今年も8月10日(金)、11日(土)とも下記のスケジュールを予定しています。みなさまのご参加お待ちしております！

スケジュール

午後2時頃から	高知県立高知追手前高校 体育館入り口にて受付開始
午後2時30分頃から	練習開始(2時間程度)
午後4時30分頃から	出発式
午後5時10分頃から	追手筋競演場で演舞
午後6時30分頃から	帯屋町アーケードで演舞
午後7時45分頃から	中央公園ステージで演舞
午後8時30分頃	中央公園にて流れ解散

※出発後のスケジュールは祭りの進行により、大きく前後する場合があります。演舞のタイミングは高知JCFBにてお知らせします。

[高知青年会議所](#)



2018



Yosakoi



高知市民憲章

澄みきった空 輝く太陽 広い海 緑の山々

この美しい山河に、わたしたちの先人は、自由民権の思想を開花させました。それは近代日本のこころのふるさとでもあります。

わたしたちは、いま、この貴重な先人の遺産のうえに、さらに豊かで明るい市民生活をさずきあげるため、みんなで手を取りあって前進します。

ここに、わたしたち市民の自治と自律のさだめとして、この高知市民憲章を制定します。



1. 鏡川を清潔なまちのシンボルにしましょう。
1. 世界をむすぶ高い文化と教養のまちにしましょう。
1. たがいに親切にし、あたたかい社会をつくりましょう。
1. 健康で働き、豊かなまちにしましょう。
1. 交通ルールをまもり、事故のない安全なまちにしましょう。

愛郷立志サマープログラム

「明治150年記念人材育成プラン」関連事業
郷土の経済偉人に学ぶ

明治維新から150年目の今年、高知青年会議所は高知県教育委員会と連携し、「愛郷立志サマープログラム」と題した1泊2日の宿泊型研修事業を開催します。

薩長同盟を成した坂本龍馬は、日本初の商社と言われる亀山社中～海援隊を結成して貿易を行ったビジネスマンの先駆けでもあり、岩崎弥太郎は三菱財閥を創始した日本経済界の雄であります。郷土・高知出身のこの二大経済偉人の足跡を巡り、土佐から日本そして世界へと雄飛した思考・マインドを学ぶと共に、現代の高知で青年経済人として活躍している高知青年会議所メンバーと、社会に出て進むべき将来像を語り合ってもらいます。

歴史の知識・興味は足りなくても全く問題ありません。龍馬・弥太郎そして現代の若きビジネスマンの息吹に触れ、郷土・高知で活躍し貢献する未来の自分へのヒントを得たい高校生諸君、ぜひとも参加を!

フィールドワーク(1泊2日)

成果発表会

2018年 8月19日(日)～20日(月) 8月25日(土)

場 所 / フィールドワーク:ちよテラホール (ちより街テラス 3F)

成果発表:高知城ホール

参加費 / 無料 (昼夕食代・宿泊代・バス代は全て主催者が負担します)

対 象 / 高知県内の高校生

募集定員 / 最大45名 (2名または3名1組 全15組)

締 切 / 2018年8月13日(月)まで

《プログラム概要》

1. 坂本龍馬・岩崎弥太郎の業績について講義受講・資料館見学により学びます。
2. 両偉人の考えや取り組みを現代社会に当てはめて課題解決に導くことをテーマに、ワークシートを活用したグループワークを行います。
3. グループワークで議論した課題解決のストーリーの中で、自分自身が担う役割・立場を想定し、自分自身の志向や不足している能力を自己分析します。
4. 1～3の学習成果をグループでプレゼンテーションにまとめ発表会を行います。

※成果発表会の最優秀1組は11月予定の「志・とさ学びの日」コンクール成果発表フォーラムにて発表の機会が与えられます。

※成果発表会の副賞として最優秀1組に旅行券¥30,000分・優秀2組に同¥15,000分を贈呈します。

8/19(日)
・20(月)

若き志士、求む!! 締切せまる!!

第四回 土佐風土祭り

9/8(土)
・9(日)




イベント

9.8(土)

開会式

(太鼓パフォーマンス・餅投げ)

ごめんな祭

どろめ祭り

馬路村丸太引き大会

ご当地タレント

高知城に全員集合!!!!

(土佐おもてなし海援隊・sugartrap・サリーズパーバンド)

キッズイベント

よさこい BY DJ KAORI

9.9(日)

それいけ!アンパンマン ショー

県内高校生によるパフォーマンス

(ダンス・バンド・書道)

キッズイベント

よさこい演舞

一青窈ライブ

平成30年9月8日(土)、9月9日(日)のそれぞれ朝の11時から夜8時まで、二日間にわたって、今年も高知の夏の一大イベントである「土佐風土祭り」が開催されます。

土佐風土祭りは今年で第4回を数え、昨年開催された第3回土佐風土祭りからは「高知を一つに」を合言葉に、高知城全域を使用しての祭りとなっています。

土佐風土祭りは、土佐の風土を体験できるものを一所に集めて祭りにする事で、県内外に向けて高知の魅力を発信するイベントです。

昨年の風土祭りではフードブースエリアを高知城三の丸広場としていましたが、今年のフードブースエリアは丸の内緑地(お堀の内側)となりました。これにより、ご家族連れやご年配の方にもっと高知のFOODを楽しんでいただけたと思います。また、ステージイベントも昨年よりもパワーアップしたものをお見せしたいと思っています。目玉はなんといっても、一青窈さんのライブ!!一青窈さんとほにやさんがコラボしたMVがきっかけとなり、出演していただく予定です。他にはどろめ祭りなどの高知のご当地祭りを出張で行う「ご当地祭りin風土祭り」や、子どもたち向けのアトラクション「ニンジャマックス」「チャンバラ合戦-戦IKUSA-」が高知城に登場します。昨年大好評だった、ほにやさんとDJ KAORIさんのコラボレーション「よさこいBYDJ KAORI」はもちろん、県内チームによる「よさこい演舞」や高校生たちによるパフォーマンスショーは今年も開催予定です。

「高知を一つに」の合言葉のもとに、9月8日・9日の2日間は高知城に遊びに来てくださいね!

高知JCの活動報告

家族対抗健康一家決定戦！ はじめの一步！無差別級足つぼ大運動会

7月1日@太平洋学園体育館

7月1日、日曜日。高知駅にほど近い太平洋学園の体育館において、2018年度前期新入会員事業、「家族対抗健康一家決定戦！はじめの一步！無差別級足つぼ大運動会」が開催されました。

梅雨の中日ということもあり、あいにくの天気となりましたが、小学生を中心とした親子連れ200名以上の参加があり、体育館の中は溢れんばかりの熱気と子供たちの歓声に満ちていました。

大運動会の種目は、綱引き、二人三脚、10メートル走、バランスボール投げ、15メートルリレー、大球転がし、手押し相撲、バランス競走とオーソドックスに見えますがこれらすべてを、歩くだけでも痛い足つぼマットの上で行うのが、今事業の最大の特徴です。

この運動会に参加したお父さん、お母さんは足の裏の痛みを通じて自分の健康状態を考え、生活スタイルを見直すことで健康へのはじめの一步を踏み出していただけるとは思えず、お子さんたちも親御さんとの交流を通じてひと足早い夏の思い出と健康の大切さを感じることができたと思います。

また、この事業はテレビ番組の取材も入っており、オンエアを見た視聴者の方や関係者の皆さまからの反響もたくさんいただくことができました。

手前味噌にはなりますが、この事業を企画した2018年度前期新入会員は今年の1月の入会からわずか半年でこのような素敵な事業を白紙から企画し、見事やり遂げました。この半年間で得た成長や人との繋がりはかけがえのないものになるでしょう。彼らはこれからも高知のためにその素晴らしいアイデアと行動力を遺憾なく発揮してくれると思います。皆さま、今後もと彼らへの応援、ご指導ご鞭撻を何卒よろしくお願い申し上げます。



（公社）日本青年会議所四国地区会員会議所会議、 基調講演、記念式典、情報交換会」

7月14日@クレメント徳島

7月14日、徳島のクレメント徳島において、日本青年会議所四国地区会員会議所会議、基調講演、記念式典そして情報交換会が開催されました。四国地区に所属する各青年会議所の理事長やそのメンバーが集まる少ない機会の一つです。

会議では、次年度四国地区会長予定者として当会議所会員である水谷太一君が承認されました。

基調講演では、衆議院議員である石破茂先生による四国創生が語られました。

その後、記念式典と情報交換会を経て、我々高知青年会議所メンバーも、四国地区の他の会議所メンバーと交流を深めました。

今回の会議での議論や交流は、四国地区地区の更なる発展に繋がることは間違いなく、また、数多くの会員が参加した高知青年会議所にとっても、強い刺激になり、今後の会議所活動に活かせる経験となりました。



平成30年7月豪雨 支援金活動

7月15日・16日@中央公園北口

NPO高知市民会議さんとの共同で、平成30年7月豪雨の募金活動を中央公園北口にて行いました。たくさんの高知市民の方の募金ご協力により、多くの支援金をお預かりする事ができました。誠にありがとうございます。

今回の豪雨で被害に遭われた地域の方々が、1日も早く日常の生活に戻ることを願っております。また、この活動は今後も続けてまいりますので、引き続き、ご支援いただければ幸いです。



高知県青年団体連絡協議会 平成30年度総会

7月17日・16日@中央公園北口

サンピアセリーズさんにて当会議所も所属している高知県青年団体連絡協議会 平成30年度総会が開催されました。

総会では29年度の報告と、30年度の活動方針及び予算案が審議されました。

平成30年7月豪雨を受けての対応についての協議がなされ、今回のような機会を使い義援金を募る事が決定されました。

あわせて、協議会の冠に高知県がある事などから義援金は高知県内の被災地復興のためとする事が決定されました。

続いて、高知県青年団体連絡協議会の設立20周年記念の交流会及び大懇親会が開催され、20周年を記念し胸襟を開いて各団体さんとの交流ができました。



(公社) 高知青年会議所7月度定時総会・2019年度理事長予定者樽入れ

7月18日@城西館

7月度定時総会が城西館にて開催されました。

冒頭の理事長挨拶では先般発生した平成30年7月豪雨のボランティア支援を通じた、兄弟JCである被災地呉の報告がありました。JCの役割や絆を伝えると共にまだまだ人の助けがいる被災地があることを再認識しました。

また本日は7名の後期新入会員を迎える日であり、厳粛な雰囲気の中バッチ授与が行われました。

そして総会では三谷哲生君が2019年度理事長予定者として賛成多数で信任されました。晴れて理事長予定者となった三谷予定者の第一声は信任への感謝でありました。掲げた「堅忍不拔」という基本理念への強い想いは私たちに挑戦する勇気と行動する責任を与えてくれました。

その後、2019年度理事長予定者樽入れが行われ、三谷予定者が多数お集まりいただいた来賓の皆さまとシニアクラブの先輩方に来年の抱負を語りました。彼の掲げる堅忍不拔という言葉に込めた熱き気持ちに、会場からは期待と激励の大きな拍手が上がっていました。また本樽入れは後期新入会員が初めて他のメンバーと顔を合わせる場でもありました。彼らの懸命な姿を見て、自分たちが入会したときのことを思い出したメンバーも多いのではないのでしょうか。彼らのこれからの活躍を応援していきたいです。

前段でも申しましたが、本会の直前に平成30年7月豪雨災害が起こりました。このような事態の最中、本当に樽入れなどを行なっているのもいいのか。そのような声もありましたが、三谷予定者の言葉を借りるなら、高知が元気な姿を見せるのも、災害に遭われた方に我々にできる精一杯のことだと思えます。

今後も私たちの前には大きな困難や試練が待ち構えています。自分のできることを一生懸命頑張ることが大切であると改めて気づかされました。

また、総会の前には献血センターさんより献血バスを出していただき、多くのメンバーが献血させていただきました。城西館の従業員の方にもたくさんのご協力をいただきました。誠にありがとうございました。



ヒワサキグループさん

その1

高知のために頑張る企業さんとその取り組みをご紹介して、明るい高知を感じてもらおうコーナー。ここでは高知のエネルギー産業を担う株式会社ヒワサキをはじめとするグループ企業、ヒワサキグループさんの社会貢献活動をご紹介します。

人材育成で社会貢献

ヒワサキ×高知大学

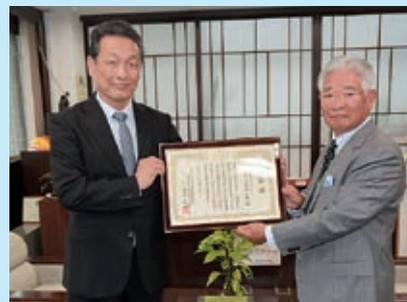
「高知大学地方創生人材育成基金奨学金」というものをご存知でしょうか。これは平成28年から高知大学で給付がはじまった返還義務を必要としない奨学金制度で、高知大学卒業後に高知県内で就職する強い意思のある学生を対象にしています。(株)ヒワサキともう一社の県内企業との寄付で成り立っており、(株)ヒワサキの「高知県で活躍する人材を育成したい」「高知の優秀な若者を高知に定着させたい」という思いと、当時の高知大学脇口宏学長の「勉強する強い意欲と将来の目標があっても経済的な事情で中退せざるを得ない学生を助ける仕組みを作りたい」という思いから実現したそうです。

“高知県は人材輩出県”という台詞を耳にしたことのある方も多いのではないのでしょうか。確かに、高知県は就職や進学を期に県外へ出ていく人が多く、少子高齢化とともに人口減少の著しい高知県にとっての重要な課題の一つとなっています。しかし一方で、高知県には農林水産物をはじめとした豊かな自然資源、高知県ならではの文化、そして温かい人間性など誇れるものが沢山あります。その誇らしい私たちの高知県をより一層発展させるには若い世代の力が不可欠です。そのためにはまず、自社に限らずとも高知県への若者の定着を支援する必要があるという、その志と広い視野が(株)ヒワサキをはじめヒワサキグループには備わっているのだと感じました。

また、前述の思いからこれと同等の奨学金寄付を高知工業高等専門学校にも行なっております。



高知大学さんからの感謝状



高知工業高等専門学校さんからの感謝状

みんなの血潮で社会貢献

ヒワサキ×献血ルーム『ハートピアやまもも』

ヒワサキグループでは2005年から今まで年に2回、自社の敷地まで献血バスに来てもらい、社員さんだけでなく近隣(主に本社がある中の島地区)の企業さんにもお願いをして献血に協力しています。

日本赤十字社の発表によると、一日平均約3,000人が輸血を受けているそうです。また、血液は長期保存ができないことや、同じ人が短期間に連続して献血をすることはできないため、年に2回、定期的に献血活動を行なっているそうです。

ハートピアやまももさんに行けば誰でも(*)献血が受けられます。少しの時間と血液で誰かの命が救えるかもしれません。あなたも一緒に社会貢献しませんか?

※問診の結果や治療歴等から献血できない場合があります。



尾崎知事から感謝状が送られました



私が取材
してきました!

高知JC広報委員長 酒井

この記事は広告です。